

これからのことを……

● 免疫力をつけましよう



館内

さをり織り機

今の状況は

「人が集まる」場としては

まるごと館は2009年6月にオープンしてから11年目を迎えるようとしています。これまで「人が集まる」場を作る”に賛同して下さった方々と共に、このまるごと館の骨組み・かたちを作ってきました。本当に沢山の方々関わって下さって、まるごと館の今がある。いつも応援して下さい下さった方々の中には亡くなられた方が何人も。お顔が浮かんできます。本当に助けていただいた。今も顔を合わせるだけでほっと出来たり、そばにおられるだけで心強かったり、声をかけて下さったりする方々がいらっしやって、とても大きな力をいただいています。今回の新型コロナウイルス感染症で集まる事が出来ない状況は本当に辛いです。

でも、今を乗り越えるための努力もしなければならぬ。長期になると言われています。この状態で突き進めば、人が集まることは避けるべきかもしれません。今では、多くの方が言われるように、自分が感染しているかもしれないとの気持ちで、自覚ある行動が求められる時なのだと思います。

春のまるごと市を中止します

今回は残念ですが、そう判断しました。秋もどいう状態になるか予測もつきません。

〈講座等で延期したもの、するもの〉

- 3月 お話会(13日)、八幡の歴史(19日)
- 4月 I/O コンサート(10日)
歴史を訪ねてNO10 飛行神社(12日)
折り紙教室(17日)八幡の歴史(24日)

〈中止する〉

- 5月 春のまるごと市(17日)

延期にしたものがいつ開催出来るかもわかりませんし、予定している講座もこれから先わかりません。

何とか感染しないように、持ちこたえられるように、そちらに気持ちを注ぐのが大事なことではないかと思うようになりました。感染した人も好きで感染したわけではあり

ませんから。噂が独り歩きすることがあって、それは、不安な気持ちの表れだと思います。テレビや新聞を見ると余計不安になりますね。目に見えない新型コロナを前にして。

今、このことをきっかけとして

いつも何の気もなしに書いてきたこと、やってきたこと(写真は昨年春のまるごと市のものです)が当たり前前に出来なくなりました。世界中がそんな状況です。今までに経験したことがない出来事を前にして、これまでの生活を振り返ってみるものの必要性和感じています。生活のなごみや人との関係を問うてみたり、これからのことも考えてみようと思います。

生活を考える

今回の件で最初に頭に浮かんだのが以前読んだ「ときをためる暮らし」という映画を見られた方も多と思います。

草木1本ない造成地に丸太小屋(?)を建て、木や野菜を植えて、落ち葉で土を育てて耕し30年以上、自分たちの食べるものを庭で育てて、日々を大切に生きて来られたご夫妻。

ご主人の津端修一さんは2015年90歳で亡くなられ、次作「ふたりからひとり」で津端英子さんはひとりになっても修一さんの毎日を反芻する様に、生きておられることが読み取れました。料理を作るのが大好きで、庭で穫れる果物から、ジャムをたく

さん作り、色々な方に野菜と共に楽しんで送られる。

英子さんの1日は修一さんの死後、彼に朝ごはんを作ってお供えするところから始まる。

お金に縛られない生活、体を動かして物を作る、育てる。筆者はそういう生活にシフトしていけばいいなあと思いで思いました。そういえば織り機で糸を紡いでおられた。

まるごと館にもさをり織り機があるので、よくわかりますが、糸から布を作る

作業は、人に素の感覚を呼び覚ましてくれる。多分、土を耕して野菜を育てると近い感覚です。農家の方の様にたくさんの野菜を育てたらしんどいことも多々あると思いますが。

免疫力と言えるのでは

食べ物ばかりではなく、物を作る中でも、人と人の関係の中でも生きてゆく力をつけることが可能だと思います。それを免疫力とよんでもいい。まるごと館の役割はそんな所あるのではないかと、この11年近くの日々の取組みから思います。

集まって笑って、学んで、関係を創って来た。だから、今も出来ることを考えてゆきたい。安心して動けるシステムは与えられるものではなく、自分たちで獲得してゆくもの。公に頼るのではなくできることを、と。

今回のことで見えてきたこと

本当に医療関係者の方々(裏右下へ続きます)



昨年の春のまるごと市



昨年の春のまるごと市



昨年の春のまるごと市



昨年の春のまるごと市



昨年の春のまるごと市



昨年の春のまるごと市

八幡まるごと館だより

2020年4月6日/125号

<発行>八幡まるごと館/八幡市男山松里12-20
(TEL&FAX) 075-983-3664(9時~17時)
(E-MAIL) yawata@marugotokan.net
ホームページは <http://marugotokan.net/>
又は、八幡まるごと館で検索して下さい



八幡まるごと館は街行く人のだれもが自由に立ち寄れる“地域サロン”です。休館日は毎週火曜日全日と土・日午後です。

＜3月にこんなことをしました＞

「風の電話」上映会



5日 4年前の2016年NHKドキュメント「風の電話」。東日本大震災で大きな被害を受けた岩手県の大槌町の海を見下ろす丘。佐々木さんという方が薄地に線の

つながらない電話ボックスを作られた。震災前、なくなったいとこと話したいということで。その電話で話すと、風がそれを亡き人に届けてくれる。それ故、風の電話と。誰にでも解放して下さっていて、震災で家族を亡くされた多くの方が次から次へと訪れ、心を開いて語る。青森八戸に住む母と子ども3人もトラック長距離運転手の父を津波で亡くし、5年もの間感情をかみ殺してきた。この電話で、涙と共にやっと時が動き出す、そういう場になっている。

オカリナひまわり



9日(写真の日) 4月10日のI/Oコンサートの前座に向けた練習をずっとしていたのですが、この時期に来て下さる方がいらっしゃるだろうか、伊佐さんや岡田さんが折角来て下さっても思いつき

り歌えないのはもったいないとのことから延期に。でもいつ出来るかが不明です。練習は続けて行きます。苦しい時ですが、換気や手洗いに気をつけて。新しい方がおひとり入られましたよ。

絵手紙講習会



11日 4月2日からの絵手紙展を控えての講習会。何度も書きましたが、もう7年近く森本玲子さんにはお世話になってます。個人の特性を認めてい

ただいて、描けているのだと思います。見ていても飽きません。雰囲気も良くて、笑いが絶えない時間を共有しています。1ヶ月に1回で、会えるのを楽しみにしていましたが、ここでもコロナの影響が、ご自分で絵の勉強される方も多

理科の実験 31



27日 ガラスドームでアクセサリーを作りました。木下章司さんはこの理科の実験を長く続けられるように、色々考えて下さっています。百均やら手芸屋さんまで材料集めにまわって下さって、中に入れるビーズや花などを沢山持って来られました。台所用スポンジに切

れ目を入れてドームを固定するのは感心しました。細かい作業でしたが、中にパーバリウムオイルを入れたりしてふたをするのに接着剤を。30分待ちました。それぞれ好みのペンダントが出来ました。

八幡まるごと館 4月・5月の予定 5月2日(土)～5月7日(木)は休館します

<p>＜まるごと館絵手紙展＞ どうぞお越し下さい 4月2日(木)～4月12日(日) 9時～17時30分 但し4月8日(水)はお休み</p>	<p>文化センターミニギャラリーへどうぞ</p>
<p>＜パソコン教室＞ 毎週月曜日10時～12時です 4月6日(月)10時～12時 4月13日、20日、27日 パソコンを持って来て下さい。</p>	
<p>＜オカリナクラブ ひまわり＞ 楽しめる時。平岡由利子さんを中心にゆっくりと 4月6日(月)13時～ 参加費100円 13日、20日、27日 練習日は月曜日だけに</p>	<p>＜I/O(アイオー)コンサート＞ 一緒に歌いませんか → 延期します 4月10日(金)13時30分～ 伊佐昭代さんと岡田佳美さんのデュオ。</p>
<p>＜絵手紙講習会＞ 4月8日(水)午後1時30分～ 講師 森本玲子さん 参加費 400円(コーヒーつき)画用紙代45円 次回は5月13日(水)です</p>	<p>＜歴史と文化を訪ねてN010＞ (少雨決行) → 延期します 4月12日(日) 10時～14時頃 講師 出口修さん 八幡駅10時集合です 持ち物 昼食(おにぎり程度)、お茶、保険代30円飛行神社拝観料250円 参加人数20人です。詳しくは後日。ご参加お待ちしております。予定では飛行神社周辺へ</p>
<p>＜折り紙教室 第10回＞ どうぞお楽しみに。日程が決まり次第お知らせします 4月17日(金)13時30分～講師 出口宏子さん → 延期します 参加費材料代は100円</p>	<p>＜歴史を学ぶ 新八幡の歴史 N020＞ → 延期します 4月24日(金)13時30分～ 講師出口修さん 参加費100円 月1回です</p>
<p>＜楽しい理科の実験 N032＞ ペットボトルの中に雲を作る 5月22日(金)13時30分～ 講師木下章司さん 参加費300円(コーヒーつき) 持ち物 ペットボトル(500cc 炭酸水のがいいです)</p>	<p>↓(ここに続きます) は日々奮闘されていますし、子どもを持つ方々は仕事が休めなくて困っておられる人も。無収入になった方々も。こんな簡単な言葉で触れるだけでは実態を表せないのですが、辛い、しんどいぎりぎりの生活を送っておられる。</p>

先日テレビでイタリア在住の日本人が、日本に帰って見た日本人の新型コロナに対する認識が甘いと話されていました。筆者自身もそうかもしれません。「世界の人口の6割から7割が感染しないと免疫ができないから、薬ができるまで感染しないようにして」との専門家の言葉が胸にストンと落ちます。再度書きますが、こんな時まるごと館として何が出来るか、考え続けます。講座がなくなるかもしれませんが、野菜販売をしていますので、お家にもって苦しくなったら、お顔を見せて下さい。お待ちしております。皆様方お元気で過ごして下さい。

＜あんなこと・こんなこと＞
4月2日から始まった文化センターミニギャラリーの絵手紙展に他の行事が全て中止延期の中、沢山の方々が来て下さいました。ありがとうございます。森本玲子さんが素晴らしい看板を毎回作って下さって、本当に個性あふれる絵手紙展に、12日までです。(うえたに じゅんこ)

これからのこと